









リコーグループの歩み

リコーグループ主力事業の歩みを紹介します。

21世紀の勝利者を目指し、グローバルでのオフィス革新ビジネスを展開しています。

画像&ソリューション事業の動き

<p>1936年～ 1945年 〈創業期〉</p>	<p>アナログPPC (1955～1997年)</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%;"> <p>リコピー101 (1955年)</p>  <p>ジアゾ複写機の1号機、事務機分野に進出</p> </div> <div style="width: 45%;"> <p>リコピーBS-1 (1965年)</p> <p>リコピー初の静電複写機</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between; margin-top: 10px;"> <div style="width: 45%;"> <p>リコピーPPC900 (1972年)</p> <p>リコー初の乾式PPC (普通紙複写機)</p> </div> </div>	<p>リコーの歴史は、1936年に感光紙の製造・販売を目的に設立された理研感光紙株式会社から始まりました。</p>
<p>1946年～ 1958年 〈戦後発展期〉</p>		<p>1955年に発売されたリコピーシリーズは、文字通りOAの先駆として事務作業に革命をもたらしました。</p>
<p>1959年～ 1971年 〈飛躍期〉</p>		<p>リコーは革新的な技術を搭載した製品を発売。また、デジタル技術の可能性に目を向け、海外市場への参入を開始しました。</p>
<p>1972年～ 1979年 〈OA創成期〉</p>	<p>デジタルPPC/MFP (1982年～)</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%;"> <p>imagio MP 9001 (2009年)</p>  <p>使いやすさと省エネを両立した高速デジタル複合機</p> </div> <div style="width: 45%;"> <p>imagio 320 (1987年)</p> <p>初めて100万円を切った普及型デジタル複写機</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between; margin-top: 10px;"> <div style="width: 45%;"> <p>imagio MF 530 (1991年)</p> <p>1台で最大6役のデジタル複合機</p> </div> </div>	<p>デジタル技術を推し進め、世界初のオフィス用ファックスを発売。デジタル複写機の開発にいち早く着手しました。</p>
<p>1980年～ 1989年 〈OA拡大期〉</p>	<p>カラーPPC/MFP (1985年～)</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%;"> <p>imagio MP C7501 (2010年)</p>  <p>新カラーP×Pトナー採用、高速・高画質・省エネを実現</p> </div> <div style="width: 45%;"> <p>リコーカラー5000 (1985年)</p> <p>拡大・縮小機能付き高性能フルカラー機</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between; margin-top: 10px;"> <div style="width: 45%;"> <p>imagio Color 2800 (1998年)</p> <p>カラー機として初めてファクス拡張機能を実現</p> </div> </div>	<p>あらゆるオフィスに複写機が普及し、販売台数は急激に拡大。レーザー化やデジタル化など技術革新を進めました。</p>
<p>1990年～ 1999年 〈デジタルそしてカラー機へ〉</p>		<p>アナログ機からデジタル機の時代へ突入。ファクス、プリンター機能の複合化やネットワーク化のニーズを先取りしました。</p>
<p>2000年～ 2005年 〈ドキュメントハイウェイ構想〉</p>	<p>プリンター (1983年～)</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%;"> <p>IPSiO SP C301SF (2009年)</p>  <p>コンパクトと高生産性を両立したA4判カラーレーザー複合機</p> </div> <div style="width: 45%;"> <p>リコーLP4120 (1983年)</p> <p>リコー初のレーザープリンター</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between; margin-top: 10px;"> <div style="width: 45%;"> <p>IPSiO Color 2000 (1998年)</p> <p>リコー初のカラーレーザープリンター</p> </div> </div>	<p>ネットワーク機器やアプリケーションの基本的構造を統一し、オフィスのスムーズなデータの活用・管理を可能にする「ドキュメントハイウェイ構想」を提唱しました。</p>
<p>2006年～ 現在 〈グローバルブランドの確立へ〉</p>		<p>トータルオフィスソリューションの提供、ハイエンドプリンティング市場への挑戦、海外市場のさらなる拡大など、さらなる成長へ向けて展開します。</p>
<p>プロダクションプリンティング</p> <p>RICOH Pro C900 (2008年)</p>  <p>カラーPOD市場に本格参入となるカラープロダクションプリンター</p>	<p>MDS・ITサービス</p> <p>Managed Document Services™</p> <p>MPS and Beyond</p>   <p>オフィスの出力環境やIT環境を構築・管理するソリューション事業</p>	<p>プロジェクションシステム</p> <p>IPSiO PJ X3240N (2010年)</p>  <p>映像コミュニケーション分野へ事業領域を拡大</p>

グローバルな動き

1936年 理研感光紙株式会社として設立（1938年に商号を理研光学工業株式会社に変更）

1954年 大森工場設立

1962年 アメリカに販売会社 Ricoh Industries, U.S.A., Inc. を設立（現 Ricoh Americas Corporation）

1963年 商号を株式会社リコーに変更

1971年 厚木事業所設立

1971年 オランダに販売会社 Ricoh Nederland B.V. を設立（現 Ricoh Europe PLC）

■売上高の推移（1970年度～2010年度）

▲ 海外 ▲ 日本

1973年 アメリカに生産関連会社 Ricoh Electronics, Inc. を設立

1978年 香港にアジアオセアニア地区の販売会社 Ricoh Business Machines Ltd. を設立（現 Ricoh Hong Kong Ltd.）

1981年 ヨーロッパと北米で乾式PPCの自社ブランド販売開始

1983年 イギリスに生産関連会社 Ricoh UK Products Ltd. を設立

1985年 御殿場工場を設立

1986年 中央研究所を横浜に設立

1987年 フランスに生産関連会社 Ricoh Industrie France S.A. 設立（現 Ricoh Industrie France S.A.S）

1991年 中国に生産関連会社 Ricoh Asia Industry (Shenzhen) Ltd. を設立

1995年 Ricoh Corporation（現 Ricoh Americas Corporation）が米国販売会社 Savin Corporation を買収し、子会社化

1995年 英国販売会社 Gestetner Holdings PLC を買収し、子会社化（現 NRG Group PLC）

2001年 米国販売会社 Lanier Worldwide, Inc. を買収し、子会社化

2003年 中国・上海に中国極地域統括会社 Ricoh China Co., Ltd. 設立

2004年 日立プリンティングソリューションズ株式会社を買収（現 リコープリンティングシステムズ株式会社）

2004年 中国・上海に生産関連会社 Shanghai Ricoh Digital Equipment Co., Ltd. 設立

2005年 海老名にテクノロジーセンター設立

2006年 リコー沼津事業所に、重合トナー「P×Pトナー」の量産工場が竣工

2006年 米国Danka社の欧州販売事業を譲り受け、Infotec Europe 設立

2007年 リコーとIBMの共同出資会社 InfoPrint Solutions Company, LLC が営業を開始

2008年 タイに生産関連会社 Ricoh Manufacturing (Thailand) Ltd. を設立（2009年9月操業開始）

2008年 海老名テクノロジーセンターに新棟建設（2010年完成予定）

2008年 米国販売会社 IKON Office Solutions, Inc. を買収し、子会社化

2010年 東北リコー株式会社に、重合トナー「P×Pトナー」工場が竣工

2011年 ハイテルベルグ社とリコー、グローバルな戦略的協業に合意

2兆 1兆 (円)

販売体制の強化



ハイテルベルグ社とリコー、グローバルな戦略的協業に合意（2011年）



リコーテクノロジーポータル
ニューヨーク
（2007年新装オープン）



プリンティング
イノベーション
センター
銀座本社2F
（2008年9月開設）

開発・生産拠点の拡充



タイに生産関連会社を設立
（2009年9月操業開始）

海老名にテクノロジーセンター
新棟設立（2010年8月竣工）